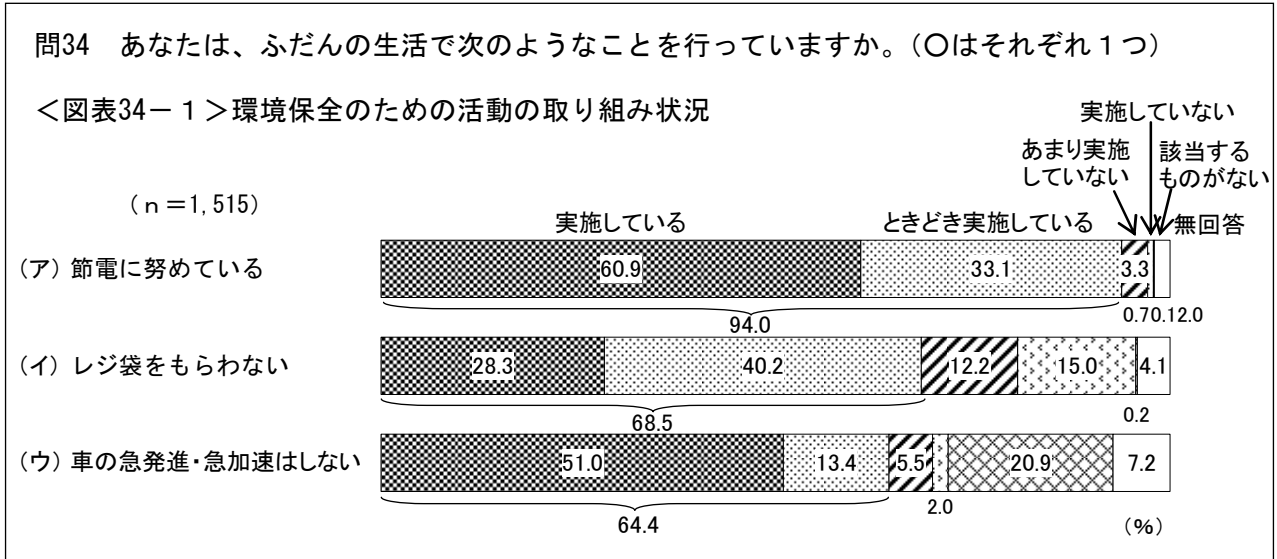


7 【環境保全に関する取り組みについて】

(1) 環境保全のための活動の取り組み状況

◇「実施している」の割合は、＜節電に努めている＞で6割



環境保全のための3つの項目について、ふだんの生活で行っているか聞いたところ、「実施している」の割合は、＜(ア) 節電に努めている＞(60.9%)が6割で最も多くなっており、以下、＜(ウ) 車の急発進・急加速はしない＞(51.0%)、＜(イ) レジ袋をもらわない＞(28.3%)が続く。

「実施している」と「ときどき実施している」の2つを合わせた『実施』の割合は、＜(ア) 節電に努めている＞(94.0%)が9割台半ばで最も多くなっており、以下、＜(イ) レジ袋をもらわない＞(68.5%)、＜(ウ) 車の急発進・急加速はしない＞(64.4%)が続く。(図表34-1)

【地域別】

地域別にみると、＜(ア) 節電に努めている＞では、「実施している」は“北総地域”(70.2%)が7割で最も多くなっている一方、“香取地域”(34.4%)では3割台半ばとなっている。＜(イ) レジ袋をもらわない＞では、「実施している」は“安房地域”(36.4%)が3割台半ばとなっている。＜(ウ) 車の急発進・急加速はしない＞では、「実施している」は“海匝地域”(63.4%)と“長生地域”(60.9%)がともに6割を超えている。(図表34-2)

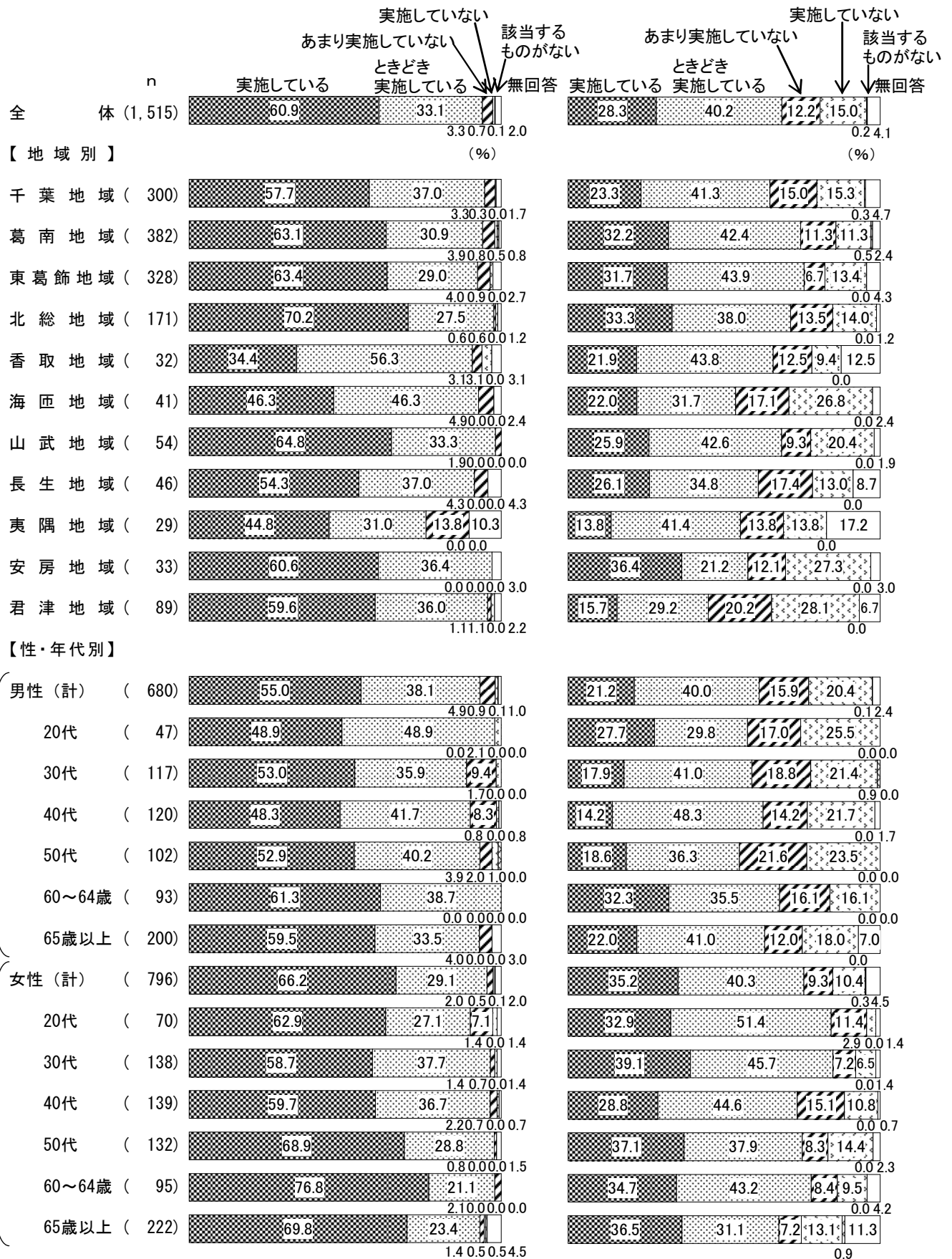
【性・年代別】

性・年代別にみると、＜(ア) 節電に努めている＞では、「実施している」は女性60～64歳(76.8%)が7割台半ばで最も多くなっている一方、男性20代(48.9%)・40代(48.3%)では約5割となっている。＜(イ) レジ袋をもらわない＞では、「実施している」は女性30代(39.1%)が約4割となっている一方、男性30代(17.9%)・40代(14.2%)・50代(18.6%)ではいずれも1割台となっている。＜(ウ) 車の急発進・急加速はしない＞では、「実施している」は男性60～64歳(68.8%)が約7割と多くなっている一方、女性20代(37.1%)・65歳以上(31.5%)では3割台、男性20代(40.4%)では4割となっている。(図表34-2)

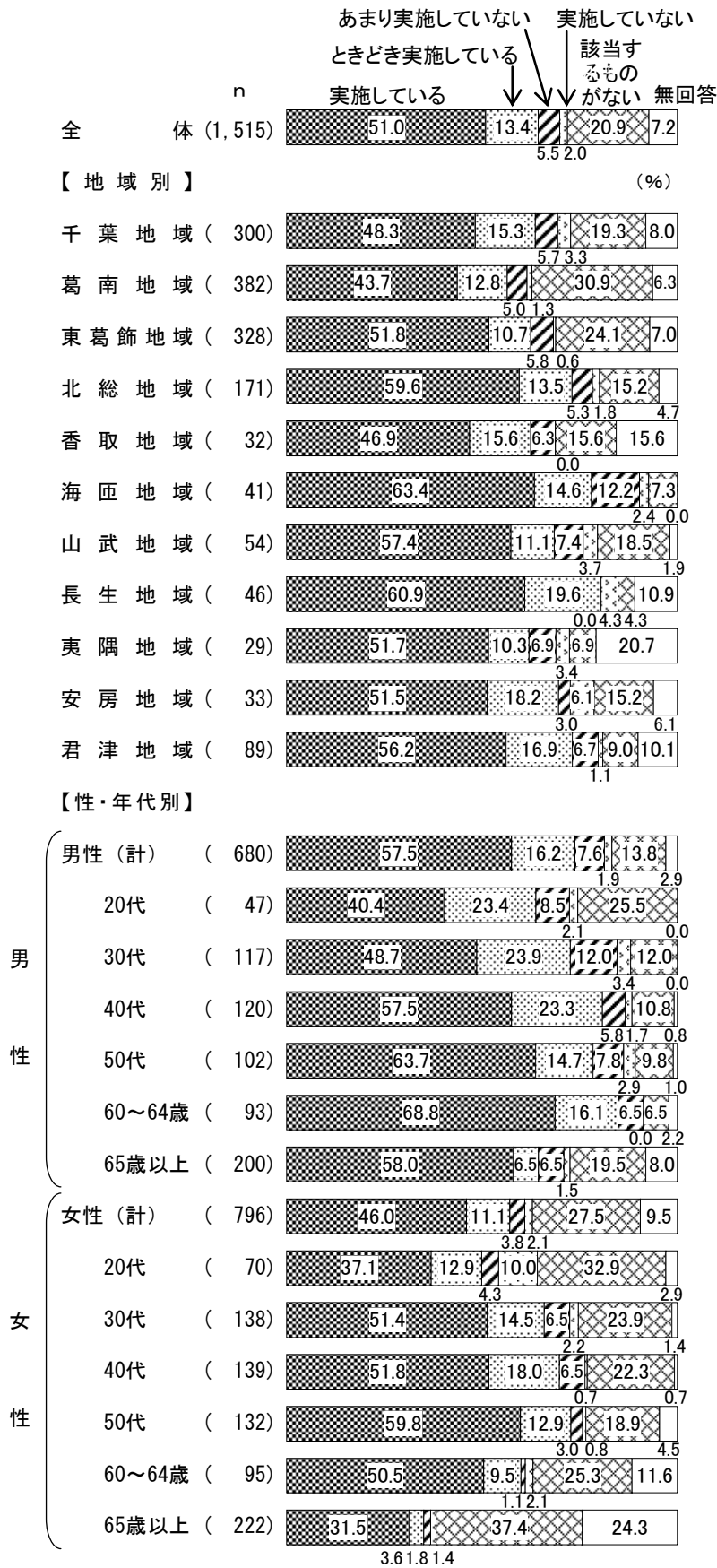
<図表34-2> 環境保全のための活動の取り組み状況/地域別、性・年代別

(ア) 節電に努めている

(イ) レジ袋をもらわない



(ウ) 車の急発進・急加速はしない

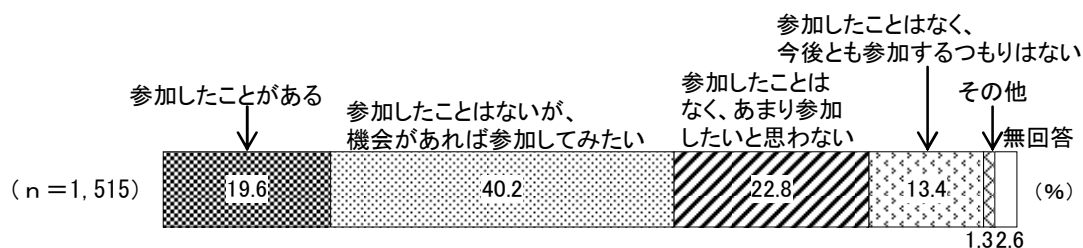


(2) 環境保全に関する講演やセミナー、環境ボランティア活動などの参加経験

◇「参加したことはないが、機会があれば参加してみたい」が4割

問35 あなたは、これまでに環境保全に関する講演やセミナー、環境ボランティア活動などに参加したことがありますか。(○は1つ)

<図表35-1> 環境保全に関する講演やセミナー、環境ボランティア活動などの参加経験



これまでに環境保全に関する講演やセミナー、環境ボランティア活動などに参加したことがあるか聞いたところ、「参加したことがある」(19.6%)は約2割で、「参加したことはないが、機会があれば参加してみたい」(40.2%)が4割で最も多くなっている。「参加したことはないが、あまり参加したいと思わない」(22.8%)は2割を超え、「参加したことはないが、今後とも参加するつもりはない」(13.4%)は1割台半ばとなっている。(図表35-1)

【地域別】

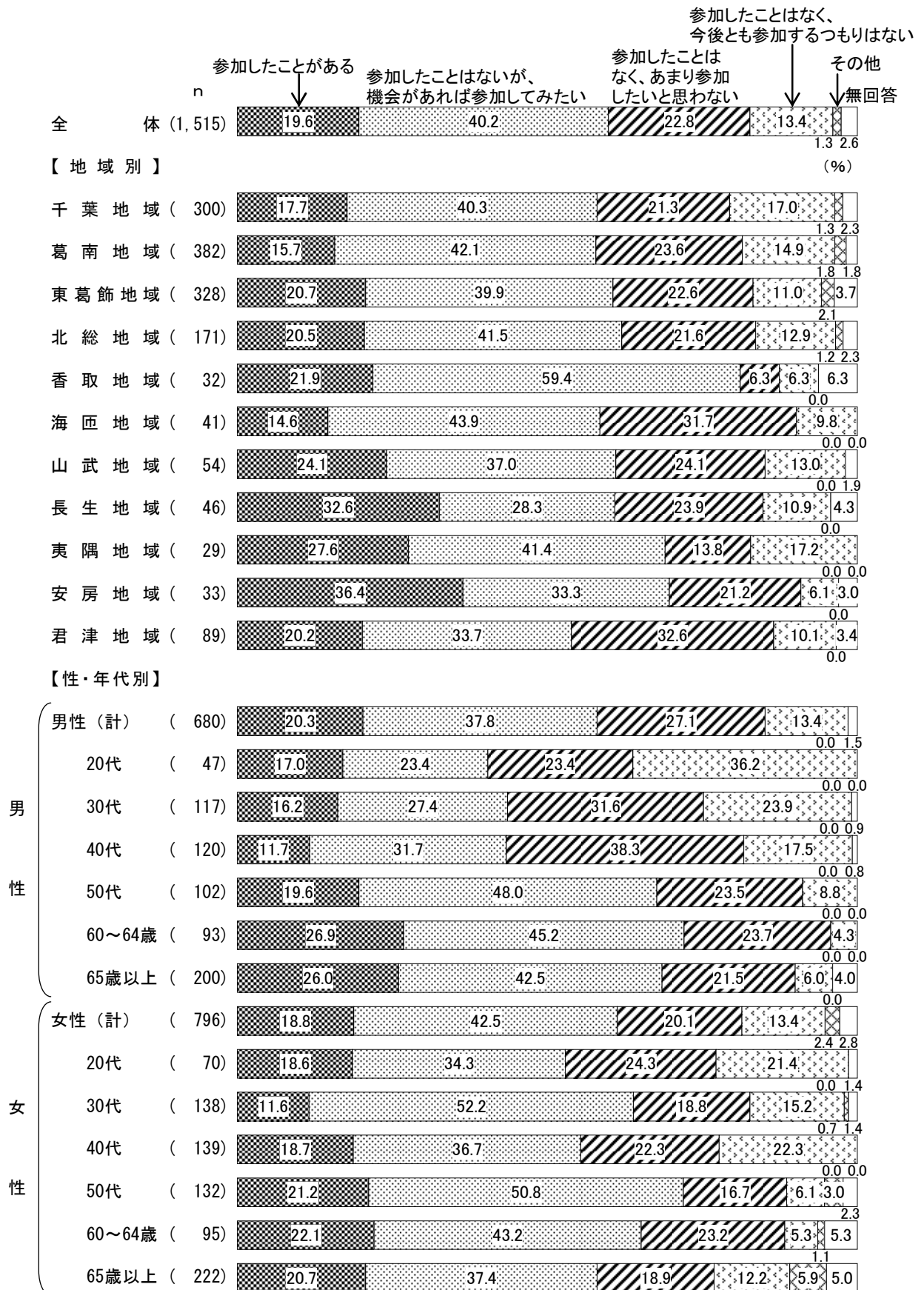
地域別にみると、「参加したことがある」は“安房地域”(36.4%)が3割台半ばで最も多く、“長生地域”(32.6%)でも3割を超えている。「参加したことはないが、機会があれば参加してみたい」は“香取地域”(59.4%)が約6割と多くなっている。(図表35-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「参加したことがある」は男性60～64歳(26.9%)・65歳以上(26.0%)が2割台半ばとなっている。「参加したことはないが、あまり参加したいと思わない」や「参加したことはないが、今後とも参加するつもりはない」といった参加意向のない人は、男性20代(59.6%)・30代(55.5%)・40代(55.8%)でいずれも5割台となっている。(図表35-2)

<図表35-2> 環境保全に関する講演やセミナー、環境ボランティア活動などの参加経験

／地域別、性・年代別



このほかに、「環境保全に関する取り組みについて」やここまでの質問（問34～問35）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、110人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

■「環境保全に関する取り組みについて」の自由回答（抜粋）

- 心がけている人とそうでない人のモラルの差が大きすぎる。教育現場から徹底し、税金や、補助の上でもその結果があらわれるやり方を考えてほしい。（女性・60～64歳・千葉地域）
- 環境保全はとても大事なことだが、所有者が高齢化のため管理ができなくて荒れ放題になって近隣が大変こまっている所が多い。もっと県、市なりが介入すべきである。
（男性・65歳以上・東葛飾地域）
- 都市化、都会化するのも楽しいですが、一步奥に進むと自然がある様な町作り、自然も大切にできるような取り組みをお願いします。（男性・30代・東葛飾地域）
- 節電はいつもPRする必要がある。（男性・20代・葛南地域）
- 地震の後、節電するようになりました。金銭的な面だけではなく、毎日の生活で当たり前になっている事が、実はとってもありがたいことだとわかったからです。この経験を生かして、子どもたちにも協力してもらっています。（女性・30代・海匝地域）
- ゴミ袋の有料化をどの市でもすべき。有料にしていないからレジ袋をもらいゴミ袋にする。レジ袋の有料もスーパーにかけあうといいと思う。そうすればゴミについて考える人が増えると思う。ゴミ処理場の見学も小学校・中学校で行かせるべき。子どもの頃に現場の人から聞いた問題点は大人になっても心に残っている。（女性・30代・葛南地域）
- 県、市で自然エネルギーに対する取り組みを強化してほしい。（女性・60～64歳・東葛飾地域）
- 生ごみコンポスト使用を強く推進するとゴミが減ると思います。その際、たい肥の受け入れ先を確保する必要がありますが、お陰で私共のごみは乾きものばかりで半分の量になりました。
（女性・40代・千葉地域）
- エコの取り組みについてのアドバイスがもっとほしい。（女性・50代・山武地域）
- 講演、セミナー、ボランティアに参加しなくても個々の心掛けで取り組めることはたくさんあるので、日常に組み込める活動の紹介をして頂きたい。（女性・30代・千葉地域）